

FavorPrep™ Blood Genomic DNA Extraction HE Mini Kit

Cat: FABG103-004 (4 回分) / FABG103-100 (100 回分)

本製品は研究用です

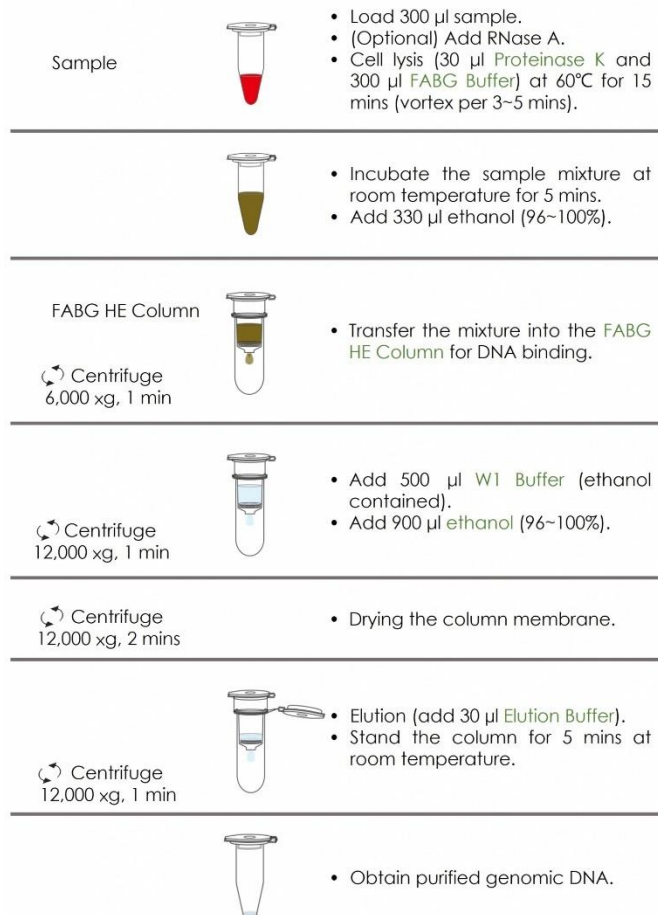
ver. 202406

📦 キットの内容

	FABG103-004 (4 preps)	FABG103-100 (100 preps)
FABG Buffer	1.5 ml	40 ml
W1 Buffer (Concentrate) *	1.3 ml × 2	44 ml
Elution Buffer	0.5 ml	7 ml
Proteinase K (Liquid)	150 µl	1600 µl × 2
FABG HE Columns	4 pcs	50 pcs × 2
Collection Tubes	8 pcs	100 pcs × 2
Elution Tubes	4 pcs	100 pcs
添加するエタノール(96~100%)量		
W1 Buffer *	0.5 ml	16 ml

📄 基本情報

構成	スピナラム (シリカメンブレン)
結合量	≤125 µg DNA/column
所要時間	<45 分
サンプル量	≤300 µl 全血またはパフィーコート
収量	4~12 µg/300 µl 全血
溶出量	30 µl



- Sample**
 - Load 300 µl sample.
 - (Optional) Add RNase A.
 - Cell lysis (30 µl Proteinase K and 300 µl FABG Buffer) at 60°C for 15 mins (vortex per 3~5 mins).
- Incubate the sample mixture at room temperature for 5 mins.
 - Add 330 µl ethanol (96~100%).
- FABG HE Column**
 - Transfer the mixture into the FABG HE Column for DNA binding.
- Centrifuge 6,000 xg, 1 min
- Add 500 µl W1 Buffer (ethanol contained).
 - Add 900 µl ethanol (96~100%).
- Centrifuge 12,000 xg, 1 min
- Centrifuge 12,000 xg, 2 mins
 - Drying the column membrane.
- Centrifuge 12,000 xg, 1 min
 - Elution (add 30 µl Elution Buffer).
 - Stand the column for 5 mins at room temperature.
- Obtain purified genomic DNA.

重要事項

1. キットの構成品は室温(15~25°C)で保存してください。
2. W1 Buffer に指示された量のエタノール(96~100%)を加えてよく混和し、室温で保存してください。
3. エタノール(96~100%)と RNase A(**オプション**)を用意してください。
4. 操作を始める前に、ドライバスまたはウォーターバスを 60°Cに予熱してください。
また、溶出ステップでは Elution Buffer を 60°Cに予熱してから使用してください

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 300 μ l のサンプル(全血またはパフィーコート)を遠心チューブ(非付属品)に入れる
* サンプル量が 300 μ l 未満の場合は、適切な量の PBS を加えてください。
2. **<オプション>** RNA-free genomic DNA を抽出する場合
12 μ l の 50mg/ml RNase A(非付属品)を加える。十分に混和し、室温で 2 分間インキュベートする。
3. 30 μ l の Proteinase K と 330 μ l の FABG Buffer を混合液に加え、ボルテックスまたはピペティングで十分に混和する。
* Proteinase K を FABG Buffer に直接添加しないでください。
4. 60°Cで 15 分間インキュベートし、サンプルを溶解する。インキュベーション中は 3~5 分おきにボルテックスする。その後、室温で 5 分間インキュベートする。
5. 330 μ l のエタノール(96~100%)を加え、パルスボルテックスで十分に混和する。
6. FABG HE Column を Collection Tube に取り付け、すべての混合液を慎重に FABG HE Column に移す。
7. 6,000 \times g で 1 分間遠心分離する。ろ液を捨て、FABG HE Column を新しい Collection Tube に取り付ける。
8. 500 μ l の W1 Buffer(エタノール添加)を加え、12,000 \times g で 1 分間遠心分離する。その後、ろ液を捨てる。
9. 900 μ l のエタノール(96~100%)を加え、12,000 \times g で 1 分間遠心分離する。その後、ろ液を捨てる。
10. 12,000 \times g で 2 分間遠心分離し、メンブレンを乾燥させる。ろ液と Collection Tube を捨てる。
11. FABG HE Column を Elution Tube に取り付ける。30 μ l の予熱した Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.5~9.0) をメンブレンに直接加え、5 分間静置する。
* 効率よく溶出させるため、Elution Buffer はメンブレンの中央に加え、完全に吸着させてください。
12. 12,000 \times g で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出する。